

372玉掛用具を起因物とする死傷災害事例(最大99事例まで) (2020年)

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	小業種	労働者規模
1	2020	1	15 ～ 16	切断機（バンドソー）で、鉄板（フラットバー）を重ねて1/2に切断後、天井クレーンでワイヤーにて結束したが、移動中に結束がズレてその1枚が左足に落下し、左足甲を骨折した。	75	4	11209	10 ～ 29
2	2020	1	13 ～ 14	塵芥焼却場で空気予熱器の伝熱管を取り替えるため、伝熱管を1Fから4Fステージへ荷揚げする際、電動チェンブロックのフックに掛けられたスリングベルトが抜け、伝熱管が落下した。伝熱管が跳ね上がって右足に当たり、骨折して挫滅創を負った。	27	4	30302	1～ 9
3	2020	1	14 ～ 15	リブ仕上げ作業でクレーンにて800kgマグネット（重量35kg）にチェーンフックを掛け、巻き上げようとしていた際、掛かりが不十分であることに気付かず巻き上げを行ったところ、高さ50cmほどでフックが外れ、マグネットが右足甲に落下し、右足舟状骨を折った。	32	4	11209	100 ～ 299
4	2020	1	16 ～ 17	工場内で、熱間鍛造プレス機の修理中、約1.5tの円盤状部品を床面から垂直に起こすため、クレーンで吊り上げた際、ワイヤーが外れた。部品が被災者に倒れ、右足親指、人差し指を挟み骨折した。	59	5	11502	50 ～ 99
5	2020	1	11 ～ 12	工場で、溶接作業中、物をチェーンで引っ掛け斜めに立掛けた状態で溶接をした際、チェーンが抜け倒れた。その際、右手中指、薬指を挟み骨折した。	56	5	11301	30 ～ 49
6	2020	1	9 ～	工場内で、上部から吊るしているフックに、鉄筋をワイヤーで掛ける作業中、フックとワイヤーの間に左手中指を挟んで挫滅創を負っ	69	7	11209	1～ 9

			10	た。				
7	2020	1	15 ～ 16	同僚と2人で、下刃ロールをフックに掛けてホイストで吊上げ、床に降ろそうとした際、同僚が敷物を取るため、その場を離れたところ下刃ロールが傾いてフックが外れ、被災者の左足に落下して大腿筋に挫傷を負った。	36	4	10209	50 ～ 99
8	2020	2	7 ～ 8	製鋼工場で底部外面の溶接補修が終了したスラグバックを反転するため玉掛作業を行っていたとき、吊り手とバランスの間に左手小指先端部を挟まれ切断した。	68	7	11001	500 ～ 999
9	2020	2	7 ～ 8	製鋼工場で底部外面の溶接補修が終了したスラグバックを反転するため玉掛作業を行っていたとき、吊り手とバランスの間に左手小指先端部を挟まれ切断した。	68	7	170101	50 ～ 99
10	2020	2	16 ～ 17	現場内でメッシュ枠プレート（1枚750kg×2枚）の引き上げ、玉掛け作業に従事中、仮フックで荷物を少し上げ、その下に台木を入れる際、仮フックが外れて荷物が落下し、右手の甲が荷物と台木に挟まれ、右中指を骨折した。	44	4	80409	10 ～ 29
11	2020	2	10 ～ 11	工場内でジブクレーン吊り上げ作業中、吊荷である鋼製リング（φ700、重量57kg程度）を地面に置こうとしたところ、吊治具の調整ミスにより不安定になって、鋼製リングが吊具から外れ、右足甲にぶつかり右足甲上面を亀裂骨折した。	36	4	11209	30 ～ 49
12	2020	2	1 ～ 2	工場内で治具塗装工事中、2点ワイヤーの1本を治具に掛けて、治具を起こすため、クレーンのフックを巻き上げた。その際、治具に掛けていない方のワイヤーがターニングローラーの縁に引っ掛かったことに気付かず、クレーンを巻き上げ続けたため、ターニングローラーの縁に引っ掛かっているワイヤーのフックが外れた反動で、他の作業者の死角にいた被災者に当たり、右前腕部筋肉を損傷した。	55	4	30209	1～ 9
13	2020	2	11 ～	工場内で、キュービクルのベース3個（1200×2190×100×1個、900×2190×100×2個）を出荷するため、クレーンで4点吊りにした。他の従業員がクレーンを操作し、被災者が後方で荷物を支	21	4	11401	30 ～

			12	えていたとき、1点が外れた。その際、ベースが被災者の右足に当たり、安全靴を履いていたが、甲を骨折した。					49
14	2020	2	9 ～ 10	工事現場でさく井機を撤去するとき、鉄の棒をクレーンで吊って下ろしたところ、ワイヤーが外れた。その際、棒が左足に落下し、甲と指3本を骨折した。	44	4	30199		1～ 9
15	2020	2	14 ～ 15	工場で、H形鋼をクレーンで吊り上げる作業中、片方の吊具が引っ掛かった荷を倒し、左足の指上に落下した。その際、左足親指を骨折、切傷を負った。	53	5	11209		10 ～ 29
16	2020	2	11 ～ 12	作業場で、2.8tクレーンを使用して、マグネット吊具で鉄板（厚み25cm）を吊った際、荷のバランスが悪く滑り落下した。安全靴は履いていたが、鉄板が入っているつま先横に落下したため、右足甲に打撲傷を負った。	30	4	11209		1～ 9
17	2020	3	19 ～ 20	BTA作業を行っている際に、ワークをセットし作業台を下りたとき、ワーク吊り具が引っ掛かりお尻に裂傷を負った。	49	8	11502		10 ～ 29
18	2020	3	9 ～ 10	工場内で、コンクリート製品を型枠から脱型した後、クレーンで吊って仕上げ場に移動した。製品を下ろす際に、バタ角の位置を直そうとしたところ、スイッチを誤って操作し、治具が外れて製品が倒れた。その際、右足が下敷きになり、腓骨を折り、挫滅創を負った。	62	5	10901		50 ～ 99
19	2020	3	9 ～ 10	工場でクレーンを上げた際、鋼材がクランプに引っ掛かって倒れ、左足甲に落ちて骨折した。	32	4	11209		10 ～ 29
20	2020	3	13 ～ 14	2段積みされた上段網パレット内の部品を員数確認するため、下段網パレットと上段網パレットの隙間に足を掛けて作業をしていた。終了後、地上に降りる際に足を滑らせ、上段網パレットを掴んだ状態で体が落下したため、左脇腹が伸びた体勢となり、左肋骨2本を	42	1	11502		100 ～ 299

				折った。				
21	2020	3	18 ～ 19	クレーンを使用して金型段取り作業中、吊り上げた金型の振れを防ぐためフックに左手を掛けたところ、フックと受け台の間に小指が挟まれて骨折した。	50	7	11502	50 ～ 99
22	2020	3	9 ～ 10	鉄工所で鉄板を外に運んでいた際、ワイヤーで吊り上げて移動旋回中、荷が傾き直そうとして近寄ったところ、ワイヤーが切れて鉄板が落ち、顔面と足を骨折した。	36	4	20202	10 ～ 29
23	2020	3	10 ～ 11	倉庫内で、真鍮スクラップ（船舶スクリュー、123kg）を、ホイストクレーンで吊り上げて移動させていた際、銅線の結び目が緩んで抜け、右足甲に落ちて骨折した。	50	4	80109	1～ 9
24	2020	4	13 ～ 14	ホタテ養殖の玉付け作業中、ロープに引っ掛かって転倒した際、後ろに玉があって玉から出ている物に腰を打ち、第1、2腰椎横突起を骨折した。	42	2	70201	1～ 9
25	2020	4	23 ～ 24	交代勤務の夜勤の日、治具置き場に研磨に使う800φの皿2枚合わせ約400kgの治工具をクレーンで吊り上げ、棚に収める作業中、治具に取り付けたボルトが外れ左足の甲の部分に落ちて、左拇趾基節骨を折った。	31	4	11303	100 ～ 299
26	2020	4	13 ～ 14	4tユニック車で、鋼材を現場事務所敷地内の資材ヤードに運搬し、ラフタークレーンで荷降ろしするための準備として、鋼材を一度ユニック車のクレーンで上げた際に、吊り具の片側が外れ、鋼材のバランスが崩れ、右足脛が鋼材と鋼材の間に挟まれて、右脛骨腓骨骨幹部骨折を負った。	59	4	30199	1～ 9
27	2020	4	16 ～ 17	客先工場内で、門型クレーンを使用して作業員2名で鉄骨柱を下ろす際、被災者が介錯ロープを引いて向きを直し、柱を置くための台を探しに歩き始めた。その直後に吊り上げていた柱が滑って落下し、被災者の右鎖骨、左足全指、右踝に当たって骨折した。	58	4	40301	10 ～ 29
			10	工場出荷段取場で、プレート（168kg）の荷揃え梱包作業中、ク				50

28	2020	4	11	レーン3点吊りの掛け方が悪く、プレートがフックから滑り落下した。その際、左足を骨折、左下腿に挫滅創を負った。	68	4	11002	～	99
29	2020	4	16	クレーンで、鉄板（幅40cm×長さ1.8m×厚み25mm、10枚）を吊上げ中、手で持っている吊り金具を戻した際、吊り金具に挟まれ、右小指を骨折した。	39	7	11209	～	49
30	2020	5	10	パワーショベルのアタッチメントの大割機を分解作業中、天井クレーンでアーム（約300kg）を取り外した際、アームのバランスが崩れ、アームが右足甲部に落下し、脱臼および骨折を負った。	63	4	11701	～	49
31	2020	5	11	資材移動のため、重機で資材を吊り上げ走行した際に、走行路が凸凹であり、ワイヤーが細く荷重に耐え切れず破断し落下した。そのとき、支えていた作業員に接触し、左鼠経部に打撲傷を負った。	25	4	30199	～	49
32	2020	5	9	土場で片付けと清掃をしているとき、鉄板を移動させようと重機で吊り上げた。その際、金具から鉄板が外れて落下し、右足に当たって骨折し、裂傷を負った	55	4	30106	～	29
33	2020	5	11	工場内で、重さ80kgの品物をワイヤーを使ってクレーンで吊り下げていた際、フックからワイヤーが外れて品物が倒れ、左足の甲に落ちて骨折した。	49	4	11301	～	29
34	2020	5	11	工場内で作業中、鋼材の吊り具が外れ、左薬指と小指を詰めて裂傷・骨折を負った。	26	7	11501	1～	9
35	2020	5	10	工場で、ウェブプレートにフェイスプレートを取り付けるため、リフティングマグネットウェブプレートを吊り、その下に受け治具を入れ込んでいた際、リフティングマグネットからウェブプレートが外れ、ウェブプレートと治具との間に左手親指を挟み骨折した。 (長さ8m、610kg)	65	7	11501	～	29
			10	変電所造成工事現場へ、片留め側溝を届けて、積み込み時に使用した側溝の蓋を回収するとき、蓋（1枚約40kg）を4枚ラッシングベ					10

36	2020	6	～ 11	ルト（荷締め機）で固定した。しかし、緩んでいたベルトを締め直すため、ユニックでトラックの荷台から約10cm吊した際、ラッシングベルトを外してしまい、蓋がばらけた。その際、左手が挟まり、左手中指、薬指に骨折および挫創を負った。	43	7	10901	～ 29
37	2020	6	9 ～ 10	資材置き場で片付け作業を行っていたとき、ユニックでロッド移動中に1mのロッドが足の上に転がり、左足の親指を骨折した。	42	4	30109	10 ～ 29
38	2020	6	11 ～ 12	船舶クレーン修理中、クレーン天井蓋を陸上のラフタークレーンにて取り外し作業中、左手人差し指に創傷を負った。	20	8	11301	1～ 9
39	2020	6	15 ～ 16	倉庫に保管している棒鋼を移動するため、荷下ろしの巻き下げ作業を行っていたところ、ワイヤーを掛けている最中に、クレーンオペレーターが巻き上げてしまい、棒鋼とワイヤーの間に左手親指が挟まり開放骨折した。	40	7	50209	10 ～ 29
40	2020	7	11 ～ 12	工場で、1次加工材を2次加工場所に天井クレーンで移動する際、長尺物吊り上用天秤に玉掛けし巻き上げを始めたところ、ワイヤーロープが天秤に引っ掛かっていたために横倒しになり、右足が天秤の下になって、足首、脛を骨折した。	21	7	11209	100 ～ 299
41	2020	7	8 ～ 9	コンクリートブロック製造工場内で、ブロックが反転治具から外れ地上に落下した衝撃で転がったため、左足に接触して足首を骨折した。	46	4	10901	10 ～ 29
42	2020	7	8 ～ 9	事業所工場内でガス切断をするにあたり、鋼板の準備をするため、クレーン作業に従事していた。定盤に板厚75mm、長さ約2100mm、幅約7900mmの鋼板を置くときにクレーン作業に失敗し、定盤と鋼板の間に左手中指・薬指を挟み、指を切断した。	22	7	11209	50 ～ 99
43	2020	7	11 ～ 12	工場内で、鉄板（30×1520×3850）をハッカー（カギ）で吊り上げ、鉄板の下面の切り屑を掃除した際、鉄板のバランスが崩れ落下し、下敷きになり死亡した。	46	4	11301	1～ 9

44	2020	7	11 ～ 12	工場内で、鉄板（30×1520×3850）をハッカー（カギ）で吊り上げ、鉄板の下面の切り屑を掃除した際、鉄板のバランスが崩れ落下し、鉄板に挟まれ骨盤を折った。	30	4	11301	1～ 9
45	2020	7	14 ～ 15	倉庫でコイルの積荷作業中、コイル（1本約500kg）をハッカーにかけて、トラックに積み込んでいた際、4本の内1本のコイルの引っ掛かりが十分でなかったため、コイルが滑って左手に接触し、手首を骨折して親指を損傷した。	57	6	11001	10 ～ 29
46	2020	7	16 ～ 17	山止め棧を荷降ろし中、腰を曲げてワイヤーを掛ける作業中、腰に痛みが出た。その際、腰椎椎間板ヘルニアを負った。	49	19	40301	10 ～ 29
47	2020	7	14 ～ 15	新築工事現場で、外壁を専用吊具で玉掛け後、専用吊具がしっかり掛かっていなかったため、外壁が落下し天秤をうち、胸を強打し前胸部挫創を負った。	40	6	30201	1～ 9
48	2020	7	13 ～ 14	鉄骨建方作業中、鉄骨の梁部材を取り付けるため、地上で玉掛した部材をクレーンで吊り、取付位置上部まで運んだところ、待機していた被災者の上部で吊り具のフックが外れて部材が落下し、頭部に挫創を負った。	37	4	30201	1～ 9
49	2020	8	15 ～ 16	工場内ブラスト室で金属部品の仕分け中、床上操作式クレーンの磁石で部品（鉄、直径約50cm、高さ約8cm、約30kg）を吊りながら、コントローラを使用して移動していた。その際、磁石接着部が部品の中心から外れており、部品が傾いて右足に落下し、親指と人差し指を骨折した。被災時、安全靴を着用していた。	67	4	11204	30 ～ 49
50	2020	8	14 ～ 15	切断前の主桁（170kg）を吊り上げて加工架台に移動させる途中で、吊り具のフックが外れて落下し、右膝にぶつかった。その際、主桁が右足の上に乗る、右大腿骨に挫傷を負った。	45	4	11209	30 ～ 49
51	2020	8	20 ～	工場の作業場で、片面の組立作業が終了したので反転しようとした。その際、クレーンの補助フックと玉掛けワイヤー付近に左手を	19	7	11209	100 ～

			21	入れ、ワイヤーのねじれを直しながら巻き上げ操作をしたところ、補助フックとワイヤーの間に左手を挟まれ、中指を切断した。				299
52	2020	8	15 ～ 16	工場内で、スチール製の廃材用ゴミ箱をクレーンで吊り移動中、右手で押さえた際、吊具のフックのワイヤーが緩み、滑り、右手小指第一関節を切断した。	39	8	11209	30 ～ 49
53	2020	8	10 ～ 11	倉庫内で鋼材（約130kg）を天井クレーンで吊り上げて移動中、鋼材が落下して、右足甲に当たり、骨折した。	57	4	80109	10 ～ 29
54	2020	8	10 ～ 11	工場でクレーンのワイヤーの片付け作業中、壁に掛けるために台の上に乗っていた際、ワイヤーの重みでふらついて台から落ち、左足関節捻挫・左第5中足骨を折った。	23	1	11301	10 ～ 29
55	2020	8	9 ～ 10	事業所で、鉄板（50×75cm）を天井クレーンで吊り上げる際、安全確認を怠り荷の下に手を入れたため、吊荷がバランスを崩して落下し、右手中指に切傷を負った。	25	4	11209	10 ～ 29
56	2020	9	14 ～ 15	工場内で、回転テーブルを溶接機自動機まで移動のため、天井クレーンで吊下作業をし、回転テーブル下側にワイヤーを掛けて作業中、ワイヤーが外れて落下し、左手と太腿に当たり、腕部挫傷、足部打撲を負った。	42	4	11209	50 ～ 99
57	2020	9	17 ～ 18	工場内で、天井クレーンにて鉄板（15m×3m×4.5m、約100kg）をクランプで吊り上げたところ、クランプが外れて倒れてきた鉄板の縁で右足の膝下に擦過傷を負った。	28	6	11209	50 ～ 99
58	2020	9	10 ～ 11	山林で搬出間伐のため玉掛けをする際、別の作業者が法肩から重機のロープとフックを渡すため、法面にいる被災者の方へ投げたところ、右足首に当たって打撲傷を負った。	33	4	60201	50 ～ 99
59	2020	9	14 ～ 15	工場内で、移動式クレーンで伸縮継手（重量1t）を持ち上げるとき、継手4隅の金具のうち、3ヶ所の金具が外れて落下した。その際、腹に当たり、次に右足に当たって骨折した。	54	4	11209	10 ～ 29

60	2020	9	12 ～ 13	鉄板（2800×4000mm、1.7t）をトラックに積み込む作業中、ユニック車で吊り上げた際にフックが外れ、下に入れていたリングと鉄板との間に右手親指が挟まれて骨折した。	67	4	40301	1～ 9
61	2020	9	16 ～ 17	ダンプからバックホウの溝堀バケットを降ろす作業中、バケットのピンにチェーンを掛けて部に鉄筋を差し込んだ際、チェーンが外れてバケットが落下し、右手薬指が挟まれて骨折した。	45	4	30199	10 ～ 29
62	2020	9	13 ～ 14	天井クレーンで、押さえ金具（約300kg）の位置を修正しようとしてワイヤーがずれ、金具との間で左手小指が挟まれ、左手5指中節骨を折った。	43	7	11209	30 ～ 49
63	2020	10	9 ～ 10	社有林内で、集材クローラークートの上部アタッチメントをトラッククレーンで吊り上げた際、地上から1m程度の高さのところ吊りのワイヤーフックのうち1つが外れてバランスが崩れて傾いた。その際、退避が不十分な状態で吊荷の近くにいた被災者の腰部にアタッチメントのステッキ部がぶつかり、第1、2、3左横突起骨折、腰部打撲傷を負った。	41	6	60209	1～ 9
64	2020	10	9 ～ 10	農業用排水路布設替工事で、排水路堀削後の土止めとして鋼矢板の背部に0.7?バックホウにて鉄板マットを設置していたところ、鋼矢板の片側が引っ掛かったため修正していた。その際、吊っていたフックが外れて鉄板が倒れ、右腕と右足を挟まれて骨折、脱臼した。	65	4	30109	10 ～ 29
65	2020	10	13 ～ 14	倉庫内で農業機械のミッション交換のため、下に潜って交換作業中、吊り上げていたミッションが滑り落ちて右手親指に落下し、挫滅創を負った。	57	4	80209	30 ～ 49
66	2020	10	18 ～ 19	5tクレーンで、C型チャンネルを2点吊りで移動する際、隣にあるH型鋼に使用していないスリングチェーンが引っ掛かり外れた反動で、右下顎にぶつかり骨折した。	28	4	10901	50 ～ 99
			9	新築工事現場前道路で、トラック荷台上で鉄筋足場の材料を荷降ろししていたところ、玉掛ワイヤーが荷に引っ掛かり、引っ張って				1～

67	2020	10	～ 10	たところ、玉掛ワイヤーが抜けてトラック荷台上から道路面に仰向けで転落した。その際、背中を強打し、腰椎1～4左横を骨折した。	46	1	30201	9
68	2020	10	～ 16	集水井で、解体のために足場架台の半月足場リングの連結ボルトを外した。その際、足場リングを吊っているワイヤー3本のうち1本が外れており、足場リングがバランスを崩し、左脛に当たって骨折した。	44	6	30199	30 ～ 49
69	2020	10	～ 10	9 コンクリート2次製品をワイヤーで吊り下ろし、ワイヤーを抜こうとしたところ、荷崩れを起こして両足に落下した。その際、両腿を打撲し、右足親指の骨にひびが入った。	51	5	30106	1～ 9
70	2020	10	～ 17	16 資材置場で、単管パイプ10本（1本4m、20～30kg）をユニック車のユニックで吊り上げ荷台から降ろす際、単管のバランスが崩れ、2、3本の単管が抜け落ち、単管と荷台の内側側面に手が挟まれた。このとき、左手中指腱断裂、薬指神経腱損傷を負った。	36	7	30309	1～ 9
71	2020	10	～ 15	14 クレーンで吊るときにバランスを崩し、重ねているアングルがずれて右足に当たり、右母趾、右第4足趾を骨折した。	46	6	11209	—
72	2020	10	～ 12	11 金型工場で、当金を取り付けているホルダーをチェーンで吊って反転作業中、チェーンが外れてホルダーが倒れ、左足に当たって人差し指と中指を骨折した。	51	4	11009	50 ～ 99
73	2020	10	～ 15	14 円座倉庫の天井クレーンで、荷物を積み上げ中、荷崩れを起こしてケーシングが落下し、左手甲に圧挫創、骨折を負った。	51	4	30199	30 ～ 49
74	2020	11	～ 17	16 門型クレーンでマグネットリフター（吊荷重150kg）を使用し、2点吊りで製作中の作業台治具の根元を切断して手前に30cm位移動しようとしていた。その際、治具は地面に中途半端な状態で設置しており、それを手前に引きずるような形で引き寄せていたが、何かの弾みで治具が手前に倒れ、L字鋼が右足の甲に当たり、骨折した。	30	6	11501	50 ～ 99

83	2020	12	13 ～ 14	工場内で、クレーン作業の誘導をしていたとき、クレーンで吊り上げていた鉄板（約70kg）が、フックから外れて落下した。その際、鉄板と接触し、左手に裂傷を負い、左足を骨折した。	53	4	170101	～ 299
84	2020	12	13 ～ 14	工場内で、クレーン作業の誘導をしていたとき、クレーンで吊り上げていた鉄板（約70kg）が、フックから外れて落下した。その際、鉄板と接触し、左手に裂傷を負い、左足を骨折した。	53	4	11204	～ 49
85	2020	12	8 ～ 9	倉庫内で、重機用タイヤ（約600kg）をホイールにはめようとしたとき、タイヤを運ぶためのチェーンと、それを支える鉄棒2本のうち1本が外れた。その際、タイヤが右手に当たり、親指を骨折した。	26	6	170101	～ 29
86	2020	12	13 ～ 14	工場、荷物（取替用上蓋）を荷上げ中、開口部に上蓋ノズルが引っ掛かり、ワイヤーを揺すった際、ワイヤーが破断して上蓋が落下し、左足に当たり、左足指を切断した。	58	4	30302	～ 299
87	2020	12	9 ～ 10	工場、バイブレーターピットの清掃中、架台を吊り上げ、斜めに傾いたため、架台下部の引っ掛かりを外そうと手を入れたところ、吊治具が外れ、落下した架台とコンクリート床の間に腕を挟まれて、右前腕を骨折した。	63	7	10909	～ 29
88	2020	12	13 ～ 14	現場で、幹（径約30cm、長さ約5m）をクレーンで吊って、駐車場に降ろして元口が地面についたところで、塀に当たらないように押さえたら、ワイヤーの止め口が下にあり、回って幹から出ていた枯枝（径約15cm）が右後頭部にぶつかり、打撲を負い、首を骨折した。	67	3	60209	～ 49
89	2020	12	15 ～ 16	工場内で天井クレーンを使用して、部材に塞ぎ板の搭載作業を行っていた。位置合わせのため、レバブロック（1.5t）を仮補強部材にセットして微調整を行い、巻き下げ作業を実施した際、レバブロックのチェーン側フックが弾け飛んで顔面に当たり、眼窩上顎骨と鼻骨を折った。	28	4	11501	～ 299

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各起因物における死傷災害事例\(最大99事例まで\) \(2020年\)](#)に戻る。